

第5回 沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム
～まちの宝を見つける目～

日時 平成29年3月6日(月)
18時30分から20時30分まで
会場 大手町会館

2017.
3/6 (MON)
18:30 ~ 20:30



講師

宮崎 晃吉

(みやざき みつよし)

HAGISO 代表

一級建築士事務所

HAGI STUDIO 代表

東京芸術大学建築科非常

勤講師

京都造形大学非常勤講師

1982年 群馬県生まれ

2008年 東京芸術大学大

学院美術研究科建築設計

六角研究室修了

2008-2011年 熊崎崎新

アトリエ勤務

2013年より東京谷中に

て、解体予定だった築

58年の木造アパート「萩

荘」を再生した「最小文

化複合施設」HAGISOを

設計・運営。

沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム vol.5
まちの宝を見つける目



@大手町会館

沼津市大手町3丁目5-16

入場無料(定員80名)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
※終了後、懇親会を予定しています。
参加自由ですが、このチャンスをどうぞお見逃しなく！

facebookにて情報発信中！



リノベーションまちづくり沼津

検索

申込 沼津市役所 めまづの宝推進課(公民連携推進担当)

問合せ

055-934-4886

ppp@city.numazu.lg.jp



Proud NUMAZU

主催：沼津市 企画：株式会社リノベリング 運営：沼津市・株式会社リノベリング

<当日の様子>

第5回沼津市リノベーションまちづくりシンポジウムは、HAGISO代表、一級建築士事務所HAGI STUDIO代表、東京芸術大学及び京都造形大学非常勤講師などを務め、東京都台東区谷中で解体予定だった木造アパートを最小文化複合施設「HAGISO（ハギソウ）」に生まれ変わらせるなど、数々の活動をしておられる 宮崎 晃吉 氏をお招きし、「まちの宝を見つける目」と題して講演いただきました。



宮崎氏からは、人口が減少していく現在の社会においては、ものを所有する時代から、もてあます時代になりつつあり、我々はものや建物を造るだけでなく使い方を試されているという前提のもと、台東区谷中で、築50年を経過し解体を予定されていた木造アパート「萩荘」が、最小文化複合施設をコンセプトとした「HAGISO」に生まれ変わるまでの経緯を紹介いただきました。



また、HAGISOから100mほど離れた場所にあった木造アパートをリノベーションにより宿泊棟にした「hanare」や、「Hatsunean」を整備した経緯等も紹介いただきました。



質疑応答では、「沼津のまちづくりのヒントは何か?」「人とのつながりをつくっていくアドバイスはあるか?」「主婦の取り込み方は?」など、会場から多くの質問が寄せられ、宮崎氏からは、現在、取り組んでいる出身地の前橋市での事例も交えながら、アドバイスをいただきました。